

2012年9月5日

下田市長  
楠山俊介様

中野たてもの応援団  
団長 小西敏正  
札幌市立大学 特任教授



## 旧南豆製氷所の「下田まち遺産」認定に関する要望書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴市のおかれましては、日頃より地域の文化の継承と発展に力を注がれていることに敬意を表するとともに、建築文化に深い関心を示され寄与されていることに深く感謝いたします。

旧南豆製氷所の建物の保存に関しましても、一時市として購入を意思表示されるなど積極的な対応を意図されておられました。その後、さまざまな障害により購入に至らなかったこと、また、市が購入されるまでの一時的な購入をされた現所有者が、貴市の購入の取りやめを受けて近々取り壊しを予定しているとお聞きしております。

ご高承のとおり、「旧南豆製氷所」は、大正時代末期に伊豆半島で採れる伊豆石を主要な建材として建設された製氷工場の建物で、最近、登録が取り消されたようですが、国の登録有形文化財に登録されていた文化的価値の高い建物で、その存在価値は時代とともに高く成ることが予想されておりました。確かに登録有形文化財の登録は所有者の意思に係わる場所ですが、東日本大震災により被災した国の登録有形文化財に対しての国や地方自治体の手厚い助成等と比較いたしますと、まことに残念な成り行きと思えてなりません。

市が中心になり保存の道筋を付けていただくことがもっとも望ましいことと考えられますが、さまざまな事情で、それが困難な場合にあっても、まずは、保存の具体的な対応を可能にするための猶予が与えられるように市としてご配慮いただければと考えております。さらに、下田の歴史を次世代に伝える下田市の文化発展の証ともなる重要な産業遺産として、「下田まち遺産」に認定することで保存のための一翼を担って頂くことを強く要望いたします。

なお、私たち中野たてもの応援団は、東京中野区の歴史ある建物を少しでも多く長く残そうと努力している団体ですがこの度、南豆製氷応援団の記事を読み、日本の建築文化継承を願っております。上記実現のため、微力ながらできる限りのご協力をさせていただき所存でございます。

敬具